

## 平成24年度 ソバセミナー開催要領



### 1. 開催趣旨

北海道は国産ソバの1/3強を生産する大産地であり、産地においてソバは基幹作物に準ずる重要な地位を占めている。現在、北海道では「キタワセソバ」がソバ栽培面積の95%を占め、更に生産性の高い新品種が求められていたことから、平成23年度に北海道農業研究センター育成の新品種「レラノカオリ」が北海道の優良品種に認定され、今年から一般栽培が始まることとなった。そこで、今回のセミナーでは新品種「レラノカオリ」をとりあげ、「レラノカオリ」の圃場見学を実施すると共に、講演会で「レラノカオリ」に関する特性の紹介、ソバ産地での取り組み、実需者の評価等について発表し、新品種の生産と利用について最新の情報を提供する。また、ソバに対する農林水産省の最近の振興政策についても情報提供し、このセミナーを通して北海道におけるソバの生産・利用面における新たな展開を検討するために開催する。

2. 開催日時 平成24年 7月19日(木)

3. 開催場所 新得町公民館 ふれあいホール

(〒081-0014 北海道上川郡新得町4条南4丁目 TEL 0156-64-5874)

4. 第1部 現地見学 新得駅10:15集合

・「レラノカオリ」圃場見学 ・製麺工場見学(新得物産株式会社)

見学は無料バスのみで自家用車は御遠慮下さい。・・・(昼食 新得そばの館)

5. 第2部 講演会 開会13:30

1) 主催者挨拶 北海道農業研究センター所長 天野哲郎

2) 講演(13:40~16:30)

(1) そばの生産を巡る状況について

市橋康弘(農水省生産局農産部)

(2) 新品種「レラノカオリ」の育成と特性

森下敏和(北海道農業研究センター)

(3) 新得町におけるソバ生産から加工までの取り組みならびに「レラノカオリ」への期待

池田佳弘(新得町農業協同組合)

(4) 協定研究における「レラノカオリ」の品質評価と今後の展望

北川裕司(全国蕎麦製粉協同組合)

3) 意見交換(16:30~17:00)

6. 参集範囲 生産者および生産団体、民間企業、行政機関、試験研究機関、教育機関、ソバに関心を持つ人々

7. 参加費 無料

8. 懇親会 17:45~19:15 湯宿くったり温泉レイク・イン(TEL:0155-65-2141) 会費4千円

9. 主催 NPO法人グリーンテクノバンク、農研機構 北海道農業研究センター、農林水産省

帯広市食産業振興協議会

後援: 帯広市、新得町

10. 参加申込み 締切7月5日(木)

別添の参加申込書、または主催者のホームページ(<http://www.gtbh.jp/>)の様式を用いて下記まで。

11. 申し込み・問い合わせ先

1) 申し込み

北海道農業研究センター畑作研究領域(資源作物育種班) 森下敏和

TEL; 0155-62-9273、FAX; 0155-61-2127、E-Mail; [tosikazu@affrc.go.jp](mailto:tosikazu@affrc.go.jp)

2) 問い合わせ

グリーンテクノバンク事務局 折登一隆

TEL&FAX; 011-210-4477 E-Mail; [gtbh@almond.ocn.ne.jp](mailto:gtbh@almond.ocn.ne.jp)